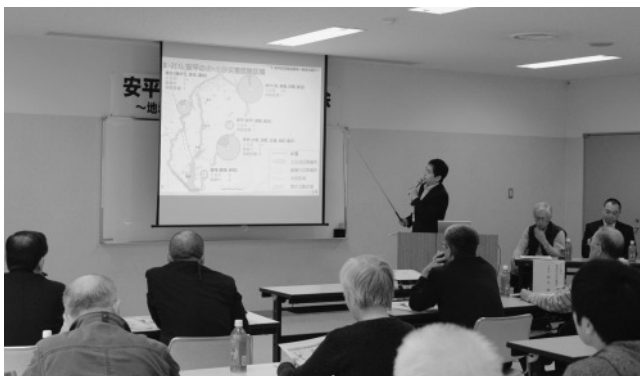


自主防災の重要性を再確認

10月6日、町が進める自主防災組織の設立支援の一環として自主防災組織講演会を開催。

災害が起こった地域に関する調査・研究を行うNPO法人環境防災研究機構北海道を講師に招き、災害発生時における地域の「自助」に関する講演に続き、町内の自主防災組織結成団体による事例では、地域の課題をクリアするため活動などについて発表されました。



大規模太陽光発電所建設

10月7日、2015年度冬の稼働に向けて「ソフトバンク苦東安平ソーラーパーク」の起工式が遠浅で行われました。

このメガソーラー発電所では、約166畝の敷地面積に太陽光パネル約44万4千枚を設置し、年間予想発電量が約1億801万4000キロワットで一般家庭にすると約3万世帯分の発電量が見込まれています。

現在、道内で建設が予定されているメガソーラーの中では、最大規模となっています。



安心・安全な生活圏内を

10月23日、第47回合同行政懇談会が開催されました。

合同行政懇談会とは、道路や河川などの行政機関のほか通信事業者などに対し、地域の代表が直接意見や要望をすることができ、年1回開催されています。

今回の懇談会では、道路や河川整備・管理に関する意見が多く、事故や災害が起きる前の対策・対応を強く求める声寄せられました。



はやきた子ども園幼年消防クラブと女性消防団員の合同火災予防訓練 (10月24日)

実際に放水を体験した園児は、飛び出した水に大歓声。ホースを取り合っていました。



第30回東胆振物産まつりに安平町から5店舗出店 (10月25～27日)

オープニングのおもちゃプレゼントには長蛇の列。期間中はたくさんの方々が賑わいました。

追分第1町内会で防災用品整備

追分第1町内会では昨年5月に自主防災組織を設立後、日頃から防災に関する広報の発行や救命救急訓練の実施など積極的な活動が行われているところですが、今年度、宝くじ助成金により防災倉庫、発電機、アルミ式折りたたみリアカー、ガソリン携行缶の整備を実施しました。

この整備事業は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業の

助成を受け実施されています。9月には整備した備品を利用した防災訓練を実施しており、今後ますますの活躍が期待されます。

